

【研究に関する情報】

研究課題名	新生児慢性肺疾患の患者と家族の QOL 向上を目指す包括的研究
研究責任者	<所属(診療科等)> 長野県立こども病院 <職名・氏名> 院長 中村 友彦
研究期間	2023 年 4 月 10 日 (倫理委員会承認日) ~ 2025 年 3 月 31 日
研究の目的	<p>周産期医療の発展により、低出生体重児の生存率は劇的な改善を示しましたが、新生児慢性肺疾患 (CLD) は未だ高頻度で重篤な早産児の合併症であり、発症率は増加しています。</p> <p>令和 3~4 年度厚生労働科学研究『新生児慢性肺疾患の診断基準・病型分類の策定、疾患レジストリの構築、および診療ガイドラインの作成に関する研究』において、①CLD 全国調査による現状把握、②重症 CLD 疾患レジストリの構築、③CLD 病型分類の策定、④診療ガイドラインの作成等で実績を上げてきました。</p> <p>本研究では引き続き、成人期までの呼吸予後に影響するとされる CLD に関する問題を解決し、CLD 患者さらには患者家族の長期的な QOL 向上に貢献することを目的としています。</p>
研究の方法	<p><対象となる患者さん></p> <p>新生児臨床研究ネットワーク (NRNJ) に登録されている症例および共同研究施設 6 施設 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、埼玉医科大学総合医療センター、名古屋大学、和歌山県立医大、産業医科大学、大阪母子医療センター) の NICU に入院し、重症 CLD 児として疾患レジストリに登録された症例、および今後の研究期間で登録される症例</p> <p><利用する情報></p> <p>CLD 児に対する在宅酸素療法及び人工換気呼吸療法に関するデータおよび重症 CLD 患児の個票形式のデータをアンケート調査にて収集しデータを解析する</p> <p><利用する者の範囲></p> <p>情報は、長野県立こども病院新生児科のほか、主研究施設である埼玉医科大学医学部小児学教室および共同研究施設である東京成徳大学・大学院応用心理学部の研究者が利用します。</p>

問い合わせ先	<p>この研究への参加は任意です。あなたの自由な意思が尊重されます。上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、下記へご連絡ください。</p> <p>なお、研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が特定の個人を識別することができないように加工されている場合は、結果を廃棄できないため、引き続き使わせていただくことがあります。</p> <p><研究責任者></p> <p>長野県立こども病院 院長 中村 友彦 〒399-8288 長野県安曇野市豊科 3100 電話：0263-73-6700(代) 臨床研究支援室 ファックス：(0263) 73-5432</p>
---------------	---